



災害への備えを忘れずに

副校長 岩澤 肇

先日の1月17日は、阪神淡路大震災から25年目の節目の日でした。あの震災の当日は、土曜日で、私は午前中普通に授業をし、児童を下校させた後の職員室で、あの高架の高速道路が倒れる姿等の衝撃的な被害の様子を目の当たりにしたのをよく覚えています。当時兵庫県近辺は、プレートも安定し、大地震は全く予想されていない場所でした。想定外の大地震と言われたこの日から16年後、さらに想定外と言われた東日本大震災が発生しました。想定された高さを遙かに上回った津波の被害は、今も東北地方に大きな爪痕を残しています。宮城県の大川小学校の避難状況に関する裁判結果とその報道も記憶に新しいことと思います。両地震の被害に遭われた方とそのご家族の方には、心より哀悼の意を表します。

しかし、直接の被害を受けなかった者は、時とともにその記憶を風化させ、ましてや想定されない事態に対しては、全く意識を向けられないものです。こういった節目の時にこそ、あらためて、その事実を振り返り、防災意識を新たにすることが大切であると思います。

本校では、昨年10月に防災デイとして避難所開設訓練と同日に学校公開を行いました。「避難所開設訓練を初めて見ることができました。」「もっと参加したかった。」「土曜日にして欲しい。」等のご意見を元に改善し、次年度も開催する予定です。また、四谷地区では、防災キャラクターを各校児童に募集し、本校からも二作品が採用された「四連ジャー」が決定し、大きなパネルが本校玄関に飾られています。学校では、こういった意識の啓発とともに、次年度に向けて避難訓練形態の多様化や社会科や総合的な学習等における防災学習の取組の強化を行っていきます。

新宿区では、児童の在校時に、震度5弱以上の地震が発生した場合は、自動的に児童は学校待機となり、保護者の方による引き取りとなることは、常にお伝えしている通りです。各ご家庭におかれましては、在校時以外の災害発生に備え、すでにお配りしております、「東京防災」や「東京マイ・タイムライン」と言った資料を活用していただき、家族の集合場所や連絡方法・住所別の該当避難所等について、改めてご確認いただけますようお願いいたします。

10歳の成長をふりかえろう

4年担任

4年生の3学期の総合的な学習の時間では、「10歳の成長をふりかえろう」という学習を行っています。

4年生は生まれてから10年。10歳という年齢は、心も体も大きく成長するととても大事な時期です。この節目の年に、自分が誕生してから、どんな出来事を経て現在に至っているのか、これまでの自らの歩みを振り返ることは、とても意味のあることです。

また、学習を通し、自分の成長の過程には、家族の支えがあり、友達の助けがあり、地域の方々の温かい目があったことに気付くことも、心の成長には大事なことです。

10年間を振り返ることで、自分のよさを知り、周りへの感謝の気持ちを抱くことは、今後の自信にも繋がっていくことでしょう。

子どもたち一人一人が、未来への希望をもち、自分の将来に向け、前向きに歩んでゆく力を培ってくれたら・・・。

そう願いながら、4年生92名の想いを大切に、学習を進めていきます。



元気いっぱい

1年3組担任

1年3組の子どもたちはとても元気がいっぱいです。毎朝教室に入ってくると「先生おはようございます。あのね、昨日こんなことがあったんだよ。」「そうなんだ。そんなことがあったんだね。でも話す前にまず朝の準備をしようね。」このやり取りから1日が始まります。まだまだ甘えたい年頃なんですね。休み時間になると、「先生遊んでくれます！」と言ってあっという間にいなくなってしまう。4時間目になるとお腹が減っているのか少し不機嫌そう。と思いきや、給食の時間にはおいしい給食に笑顔いっぱいです。掃除の時間では、6年生がお手伝いしに来てくれて、一緒に掃除をします。教室をきれいにしようと一生懸命に取り組んでいます。下校するときにはハイタッチをして「さようなら。また明日。」こんな1日の中でたくさんの表情を見せてくれる1年3組の子どもたち。修了式の日に笑顔で「さようなら。また2年生で。」と言えるように元気に過ごしていきます。

昨日とは違う景色

4年3組担任

「四谷大木戸って、あの大木戸？ぼくの家の近くだ。」社会科で玉川上水の水路について調べていた時のことです。玉川上水が羽村から四谷大木戸までひかれていたことを知り、見慣れた大木戸に江戸の人々の面影を感じるようになります。

「晴れし空 仰げばいつも 口笛を 吹きたくなりて 吹きてあそびき」石川啄木
晴れた気持ちのよい日は、自分も口笛が吹きたくなるなあ。明治の歌人も自分と同じような思いだったことを国語の授業で知り、身近に感じます。

何かを知ることで、昨日までとは違う景色が見えるようになり、これまでにはない思いや考えをもつ。学ぶことの喜びは、そんなところにあるのではないのでしょうか。これからも子どもたちと共に、視野を広げ、新しい世界を切り拓いていきたいと思います。

6年生へ感謝を込めて

代表委員会担当

2月25日の3時間目に6年生を送る会があります。全校児童が体育館に集まり、今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを表し、卒業を祝う会です。

今年も6年生へ各学年からの出し物を予定しています。6年生に喜んでほしいと、感謝・激励の気持ちを込めて、一生懸命用意します。

送る会の最後には、校旗の引き継ぎがあります。全校が見守る中で、最高学年として下学年のお手本になるという自覚、責任、そして四谷小学校の伝統が、校旗とともに6年生から5年生へ引き継がれます。

心温まる素敵な会になるように、子どもたちと共に準備を進めていきます。

